

令和 8 年度（2026 年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

【A 日程入試】法律専門科目試験

刑法 出題の趣旨

問題 1

問題 1 は、刑法総論および各論に関する重要な概念のごく基礎的な理解を問うものである。具体例を設定させるのは、適切な具体例の設定は正しい知識の裏打ちを測るために有用だからである。

(1) は、被害者の承諾の近接論点である危険の引受けに関する基本的な理解を問うものであり、両概念の異同等原則に属する理解を確認する。(2) は、殺人罪と堕胎罪の限界を示す人の始期に関する基本的理解を問うものであり、通説である一部露出説を含めた学説の内容が正しく理解できているかを確認する。

問題 2

問題 2 は、刑法総論上の典型論点である抽象的事実の錯誤と、刑法各論上の典型論点である脅迫罪における告知の意義を組み合わせた事例問題である。

前者については、罪責を認めるための基準となる「重なり合い」について、その意義およびそれが基準となる理由を解答者が正しく意識できているかを問うている。後者については、脅迫罪の基本である「害悪の告知」の意義を、相手方にそれが届かなかった場合にどのような解決になるかを問う事例の解決を通じ確認する。